

社会資本総合整備計画 防災・安全交付金

令和07年01月15日

計画の名称	防災子ども・高齢者等安全まちづくり計画												
計画の期間	令和03年度 ~ 令和07年度 (5年間)								重点配分対象の該当	○			
交付対象	旭川市												
計画の目標	平成30年7月豪雨や北海道胆振東部地震などの大規模災害が相次いでおり、今後大規模な自然災害が発生した場合に備え、現状、災害時に段差や不陸等の移動に際して支障となるバリアが生じる危険性の高い経路において、バリアフリー化と併せ歩行空間を整備することで、速やかな避難経路が確保され、子どもや高齢者・障害者等の要配慮者の防災性と安全性の向上に資する。												
全体事業費(百万円)	合計(A+B+C+D)	907	A	907	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C/(A+B+C+D)	0	%

番号	計画の成果目標(定量的指標)			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値 (R3当初)	中間目標値	最終目標値 (R7末)
1	災害発生時に速やかに安心して避難できる要対策経路における安全度の向上 指定避難所と指定緊急避難場所を結ぶ路線及び指定避難所と要配慮者施設を結ぶ路線の避難経路対策を要する路線のうち、対策済みの率を算出する。 避難経路対策率 = 避難経路対策実施済み延長(Km) / 要対策延長(3.3Km)	0%	%	100%
2	避難経路が確保された要配慮者施設の対策率の向上 要配慮者施設のうち、避難経路対策が実施され、避難経路が確保された対策率を算出する。 要配慮者施設の対策率 = 避難経路対策済み施設数 / 要対策施設数(26施設)	0%	%	100%

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	○	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-
旭川市強靱化計画に基づき実施される要素事業 : A13-001												

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												R03	R04	R05	R06	R07			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
市街地整備事業	A13-001	都市防災	一般	旭川市	直接	旭川市	-	-	地区公共施設等整備(神居地区, 東地区, 神楽地区, 西地区)	神居・東・神楽・西地区 道路整備 L=3.3 k m	旭川市						907	-	
												小計						907	
											合計						907		

交付金の執行状況

(単位：百万円)

	R03	R04	R05	R06	
配分額 (a)	90	92	81	72	
計画別流用増 減額 (b)	2	0	0	0	
交付額 (c=a+b)	92	92	81	72	
前年度からの繰越額 (d)	0	0	0	0	
支払済額 (e)	92	92	81	72	
翌年度繰越額 (f)	0	0	0	0	
うち未契約繰越額(g)	0	0	0	0	
不用額 (h = c+d-e-f)	0	0	0	0	
未契約繰越率+不用率 (i = (g+h)/(c+d))%	0	0	0	0	
未契約繰越率+不用率が10%を超えている場合その理由					

(参考様式3) 参考図面 (防災・安全交付金)

